

雌阿寒岳に火口周辺警報（噴火警戒レベル2（火口周辺規制））を発表

本日（28日）16時00分に雌阿寒岳に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル1（活火山であることに留意）から噴火警戒レベル2（火口周辺規制）に引き上げました。

雌阿寒岳では、26日からポンマチネシリ火口付近の浅いところを震源とする体を感じない程度の微小な火山性地震が増加しています。

また、昨日（27日）国土交通省北海道開発局の協力により実施した上空からの観測および本日（28日）の現地調査の結果、ポンマチネシリ火口付近で地熱域が拡大し、噴煙の勢いも増加しているのが認められました。

このように雌阿寒岳の火山活動は活発になっており、今後ごく小さな噴火が発生する可能性があります。

噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。ポンマチネシリ火口から概ね500メートルの範囲には近づかないでください。

なお、ポンマチネシリ火口から概ね500メートルの外側であっても、風下側では火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

問い合わせ先
気象庁地震火山部火山課
電話 03-3212-8341（内線 4538）